

# 令和6年度第3回会議の概要

令和6年度 第4回 久御山町上下水道事業経営審議会  
令和6年9月3日(火)10:00～

久御山町 事業環境部 上下水道課

# 令和6年度第3回会議での主なご質問・ご指摘事項

No	委員質問・指摘事項要旨	審議会回答要旨	検討内容	
			趣旨	説明 等
1	口径別の増減率に差を設けるのは、ある種の町の政策でもあるが、今回そのバランスを変えるということは、政策に何か変化が起こったのか。	経営の安定化のため、算定要領に近づきたいという思いがあるが、全体のバランス、近隣市町との比較なども考慮する必要がある。その中で、改定案8については、基本料金の配分を大きくしながらも、負担構造としては、あまり変わらない形の案とした。	—	
2	昨年来の物価上昇で生活者の大変負担になっている時期に、小口使用者へ一段の負担をお願いすることは厳しい。	—	—	
3	改定案8がバランスのとれたものになっている。改定案8が一番バランスが良いと感じる。	—	—	
4	住民の方が見て、一律に基本料金が20%上がると思えることが重要。住民にも分かりやすいのが改定案8だと思う。	—	—	
5	公平性の観点から、一律に上げるのがバランスが良く改定案8が良い。	—	—	
6	企業では、料金改定となった瞬間に、二の手、三の手を考え、水利用の減少や、別の方法で水の供給を考える可能性がある。	—	—	

# 令和6年度第3回会議での主なご質問・ご指摘事項

No	委員質問・指摘事項要旨	審議会回答要旨	検討内容	
			趣旨	説明 等
7	水道事業では、家庭用は価格の弾力性が小さく、料金を下げても需要は増えないが、料金を上げると需要が減る場合があるため、注意は必要である。	—	—	
8	近隣市町の料金体系は、小口使用者に配慮して、大口使用者から特に固定料金を取るという考え方で、大口使用者の料金が少し高めになっているが、久御山町の料金体系は、近隣市町に比べて、だいぶ進んだ考え方である。	—	—	
9	審議会としては改定案8で進めることでうまくまとまった。	—	—	
10	答申(案)についても、料金改定の背景や経緯、今後の見通しなどが重要となるため、そういった内容も含めていただきたい。	—	補足	本日の審議会資料「答申(案)」に、料金改定の背景や今後の見通しについて、記載しています。